学校番号	3027

令和８年度　地歴公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	詳述政治・経済（実況出版）						
副教材等	2026 ズームアップ政治・経済資料（実況出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・1 年次に学習した公共の授業からさらに発展し、日本の政治体制のみでなく諸外国との政治体制や違いについて学び、国家の制度について深く学びます。
・経済においては、市場原理の学びをさらに深め、個人や企業、国家がどのように経済に関与しているのかを学ぶことで、現代社会の経済がどのような状況にあるのかを分析する力を養います。
・普段チェックする報道を、単に情報を受け取るだけでなくその背景や今後の影響などについても考え、社会に寄与する姿勢を養います。

2　学習の到達目標

社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
【知識及び技能】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解しているとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想し、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断している。	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	現代日本の政治	政治と法の意義や機能を理解し、権利と義務の発生や法そのものをつくる議会世民主主義について理解する。また、民主主義に基づく地方自治などにも触れ、選挙の重要性について理解を深める。	a:政治の関連する事柄を概念や理論を活用して理解している。 b:諸事象の政治における議論や内容について考え、自らの意見を他者に伝えることができる。 c:よりよい社会の実現に向けて、現状を理解し、自らの考えを深めることができる。	考査 レポート	考査 ディスカッション	振り返りシート
	現代日本における経済	経済活動の意義や現代社会の仕組みについて、原理や企業・GDPなどの指標が意味することを学ぶ。また、経済を安定化させるため、政府の役割や金融の役割について学び、経済活動に自らがどう関与しているのか考える。	a:経済にまつわる事柄を、概念や理論を活用して理解している。 b:世の中の事象を経済的な観点から考え、何が起こっているのかを学んだ知識を活かして説明することができる。 c:経済活動がもたらす社会への影響について理解し、学びを深めることができる。	考査 レポート	考査 ディスカッション	振り返りシート

2	現代の国際政治	個人の尊厳や基本的人権の尊重に基づいて、国際社会の変遷や各国の利害関係などを把握し、我が国の安全保障に目を向ける。また、国際連合や国際平和のための取り組みについて学び、我が国がどのように平和に寄与できるのかを考える。	a:現在の国際社会がどのような経緯で形成されているのか、過去の事例を比較しながら整理し、仕組みや概念、理論を理解している。 b:現代の紛争の経緯などについて学び、我が国がどのように平和のために活動ができるのかを考え、発表できる、 c:違う根拠による意見の相違を踏まえて、新たな合意点を導き出そうと努める態度がみられる。	考査 レポート	考査 ディスカッション	振り返りシート
	現代の国際経済	グローバル化に伴い発生する貿易について、貨幣の相場や貿易協定などの構造について理解する。また自由貿易が目的とする理論と問題点について学び、我が国はどのように貿易を行うべきか考える。	a:グローバル化による変化を把握し、その速度や影響力を理解し、国際経済の諸課題を多面的・多角的に理解している。 b:比較生産説や関税などが持つ働きについて理解し、メリットとデメリットを説明できるようにする。 c:国際経済の歴史を踏まえて、今後の国際関係がどのように変化するのか、経済の視点から考察できる。	考査 レポート	考査 ディスカッション	振り返りシート
3	経済の諸課題の探究・グローバル化する国際社会の諸課題の探究	これまで学んだ政治・経済分野や国際社会の問題を踏まえ、地域社会で生きていくうえでの問題点や国際紛争の取り組みなどを探究し、社会に参画していく一人としての姿勢を養う。	a:現在の社会の問題点や解決すべき事柄に興味関心を持ち、その問題に関する知識を学ぶ。また、それがこれまで学んだ分野のどこに該当するのか理解する。 b:自分が興味のある分野についての解決策や新たな課題などについて発表し、他者の意見から新たな考えを創造することができる。 c:他者の意見を受け入れ、よりよい社会を目指す姿勢を養う。	レポート	ディスカッション	振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度